

広報とうかい
人・自然・文化が響き合うまち

Tokai

October [No.728]

10・10

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2005年[平成17年]

Contents [10月の主な話題]

- 村長選挙結果報告…………… 2
村上村政3期目スタート
- 老人医療費を大切に使いましょう…………… 5
日ごろから健康づくりを心掛けましょう
- アイダホフォールズ市での楽しかった思い出…………… 6
ホームステイ体験記
- ず〜むあっぷ「まちの風景」…………… 8
- 青少年育成体験記(PART.67)―[石神内宿]佐藤孝雄さん……………10
石神サッカースポーツ少年団にかかわって
- 今どきの青少年(VOL.77)―[村松]田中ちひろさん……………11
第16回友情の船中学生チーフリーダーとして
- STATION GALLERY……………12
- 図書館トピックス……………13
- 「総合福祉センター周回ヘルスロード」を歩いてみませんか?……………14
- いんふおめーしょん……………15
- わが家の子育て奮戦記……………20
[白方]澤島真由美さん・海成ちゃん・優寧ちゃん





Report

東海村長選挙

村上達也 現村長が3選

投票率
76.98%

任期満了に伴う村長選挙で、9,860票を獲得し3期目の当選を果たした村上達也村長(62歳)が9月21日に初登庁しました。

は、総合体育館で開票作業が行われました。開票の結果、村上氏が9,860票を獲得し、3選を果たしました。

村上氏は、平成9年9月の村長選挙で初当選、平成13年9月には無投票により再選し、今回で3期目となります。

任期満了に伴う東海村長選挙は、9月6日告示、9月11日に投票が行われ、即日開票の結果、村上達也氏が当選を果たしました。8年ぶりとなった今回の選挙には、尾形孝氏(65歳 村松) 〓 医師、村上達也氏(62歳 石神内宿) 〓 現職、高野秀機氏(62歳 須和間) 〓 元日本原子力研究所研究員の3人が立候補し、5日間にわたって選挙戦を展開しました。

当日の有権者数は2万7,844人(男性：1万3,976人、女性：1万3,868人)。とても身近な選挙であることから、高い投票率が期待されていた今回の村長選挙。午後から降り出した雨の影響も懸念されましたが、投票者数は2万1,435人(男性：1万6,439人、女性：1万7,92人)、最終投票率は、76.98%(男性：76.15%、女性：77.82%)で、過去最低だった前回(平成9年9月)より約20ポイント増加となりました。

なお、同日執行された茨城県知事選挙には、現職の橋本昌氏と、新人の間宮孝子氏の2人が立候補していましたが、橋本氏が総数108万票余りを獲得して、4選を果たしました。

投票所別の投票状況

投票所	有権者数	投票者数	投票率
1 真崎コミュニティセンター	1,900人	1,265人	66.58%
2 村松コミュニティセンター	1,800人	1,282人	71.22%
3 中丸コミュニティセンター	2,122人	1,498人	70.59%
4 舟石川保育所	2,413人	1,465人	60.71%
5 外宿2区集会所	1,471人	985人	66.96%
6 石神コミュニティセンター	2,167人	1,423人	65.67%
7 亀下集会所	1,004人	705人	70.22%
8 白方コミュニティセンター	2,909人	1,945人	66.86%
9 村松幼稚園	1,954人	1,316人	67.35%
10 東海村合同庁舎	3,083人	1,851人	60.04%
11 中央公民館	1,619人	1,177人	72.70%
12 舟石川コミュニティセンター	2,269人	1,479人	65.18%
13 南台集会所	1,948人	1,330人	68.28%
14 営農生活改善センター	1,185人	742人	62.62%
期日前投票所	-	2,972人	-
計	27,844人	21,435人	76.98%

村長選挙の開票結果

村上達也氏 9,860票
高野秀機氏 9,299票
尾形孝氏 1,888票

(得票順)

過去の村長選挙の投票率

年次	投票率
昭和44年	86.64%
昭和48年	90.66%
昭和52年	87.10%
昭和56年	87.15%
平成9年	57.40%
今回	76.98%



3期目就任のごあいさつ

東海村長 村上 達也



「戦いすんで日が暮れて」と申しますが、去る9月21日初登庁し、3期目の村政をスタートさせました。1期2期を通じて寄せられました村民の皆さまのご協力を改めて感謝するとともに、就任に際し、まずは村民の皆さまの一致融和、力の結集をお願い申し上げます。

私は2期目の村政運営の基本を開発優先ではなく「人・環境優先の村政」と言ってきました。

この路線は3期目も続け、さらに精度を上げ前進させてまいります。福祉(医療・保健)、教育、環境、農業を行政の4本柱とする行政運営、すなわち村民の生活を直接支援する行政を推進してまいります(「生活者起点」)。この4本柱の考えは、行政の中には勿論、村民の中にも定着しつつあり、現在、村民と役場職員の協働で策定中の総合計画「とうかい21世紀プラン」後期計画(平成18〜22年)推進の中

で全面的に花を開かせます。

村政運営の基本第2は、行政の透明性を高め、公平・公正な村政を維持し、村民が村政に発言・参加できる環境を整え、「住民が主人公」「住民本位」の村政を進めていくことです(「住民起点」)。国や県に頼っていればよしとする時代は終わり、今や地方分権の時代、各々の自治能力が問われています。自治能力の源泉は個々の住民の力、その総和であり、このパワーを引き出すのが「住民参加」「住民参画」であります。この東海村では他の自治体に先んじ、小学校区自治会や小学校区社会福祉協議会創設の検討等、新しい地域コミュニティづくりが進められ、役場職員も村民や地域の目線で考える姿勢ができており、さらに先へ進むことが可能であります。

第3は、東海村存立の基礎を成している「原子力」との関係ですが、日本原子力研究開発機構本社の設置、そして、大強度陽子加速器(J-PARC)稼働によって東海村の地位が高まるとともに様相が一変し、世界的な学術研究都市

としての総合的な「原子力のみち」を目指していくことが可能となりました。それを実現していくには単に「原子力」機関に依存するのではなく、村と村民側からの主体的な働きかけが必要です。私は、東海村の将来を展望し「高度科学研究文化都市構想」を掲げ、その先頭に立ち実現しようとしております。

総括しまして、少子高齢社会、低成長経済への対応が求められる大変革の時代にあつて舵取りが大変難しい時期でありますが、東海村の持つている可能性を最大限に引き出し、21世紀の中で東海村がさらに輝けるよう、その基盤を村民の皆さまと一緒に築いていきたいと思っております。「負うべきことを村民から負い、成すべきことを村民の中に成す」を、私の村政に携わる信念としています。3期目もこの信念に基づき村政に努力してまいりますので、どうか引き続きお力をお貸しくださいようお願いいたします。

新しい村立東海病院

救急医療？ それは…。

新しい村立東海病院では、救急医療への取り組みを積極的に行っています。

一口に救急医療といっても、いくつかの段階に分かれています。症状に応じて、「初期救急医療・一次救急医療」「二次救急医療」「三次救急医療」の3つに大別されます。

種類	内容
初期救急医療 一次救急医療	休日や夜間における外来診療(入院の必要がない)で済む救急患者に対応するものです。意識もあり、比較的落ち着いている軽症患者に対応するもので、最も地域に密着した医療です。在宅当番医制などがこれに当たります。
二次救急医療	入院治療を必要とする重症患者に対応するものです。県内を9つの地区に分割した区域を二次医療圏と呼び、その圏内ごとに、“病院群輪番制”による24時間体制など、受け入れ態勢の整っている地域もありますが、地域ごとに違いがあります。
三次救急医療	重症および複数の診療科領域にわたる、すべての重篤な“生死にかかわる”救急患者に対して、24時間体制で高度な救急医療に対応するもので、救命救急センターとも呼ばれています。県内では、水戸医療センター・土浦協同病院・筑波メディカルセンター病院・茨城西南医療センター病院の4施設で実施しています。

◆新しい村立東海病院では、「初期救急医療」の充実に努めていきますが、「二次救急医療」も視野に入れ、態勢を整えていきます。また、必ずしも救急車で来院する患者さんばかりではなく、患者さんが自分で来院する「直接外来」というものもあり、これにも積極的に対応していきます。



◆「意識がはっきりしているから…」「歩けるから…」「微熱程度だから…」といって、「大丈夫！」と自己判断せず、医療機関で受診することが大切です。かかりつけの医者がいないため、どこにかかったらよいか分からない場合には、救急医療情報コントロールシステム(☎241-4199)へ連絡すると、受診できる医療機関を紹介してもらえます。

病院への上手なかかり方(その3)

東海病院整形外科医師 大場 義幸



医師は、日々、患者さまとのふれあいを感じながら診療しています。今回は、検査や治療についてお話したいと思います。

■検査や治療は、病状の変化や病気の時期を考えて行います

先日、「湿布で3か月間治療したが、肩が良くならない！」と訴える患者さまが来院しました。肩の動きが悪く、髪をとかすことや腰に手を回すことができません。初めは痛いながらも肩の動きは良かったようで、医師には、「湿布をして安静にすれば治る」と言われたようです。1回のみ通院し、その後は自分で薬局から湿布を買い、せっせと張っていたようです。これは、肩の拘縮(肩関節が固まること)が起こり、必要以上の安静が原因であると思われます。冷却と安静は初期の治療で、次の段階の治療を行っていないのです。医師は、次の段階の治療を行おうとしていましたが、患者さまは通院しなくなってしまったのです。

レントゲンや血液検査も同じです。初めの検査は、費用と病気の可能性から考えて行います。時々、「全部検査してください！」と言う人がいますが、レントゲンの被爆や検査費用などを考慮して、必要な検査のみを行います。必要以上の検査は健康保険では認められず、自費で高額な医療費を払うことになる場合もあります。初めの検査で病気が分からないときや検査を追加したいときは、病気の確認のために次の段階の検査を行います。病院を転々として検査している人は、初期の段階の検査のみで終わっており、さらに詳しい検査を行っていない可能性があります。

医師に相談しながら、病状や病気の時期に合った段階的な検査や治療をしないと、満足のいく医療が受けられないことがあります。

問 合 せ 新病院建設準備室(☎287-0899 電子メールsinbyouin@vill.tokai.ibaraki.jp)

老人医療費を大切に使いましょう！

老人保健制度とは

75歳(一定の障がいのある方は65歳)以上の方は、「老人保健制度」で医療を受けるようになります(昭和7年9月30日以前に生まれた方は、経過措置として引き続き老人保健の対象となります)。

この制度は、高齢者が医師にかかるときの負担を軽くし、安心して医療を受けられるようにするもので、国民健康保険、職場の健康保険などの医療保険の加入者やその被扶養者すべてに適用されます。ただし、老人保健の対象となっても今までの医療保険から抜けるというものではありませんので、保険税(料)は今までどおり納めることになります。

老人医療費を大切に使うために

近年の高齢化に伴い、医療費全体に占める老人医療費の割合が年々高くなっています。

老人保健制度は、国民が協力し合って費用を負担しています。大切な医療費を無駄遣いしないように、日ごろから健康づくりや上手な受診を心掛けましょう。

●医療費を大切に使うためのポイント

- ①重複受診はせず、かかりつけの医師を持ちましょう。
- ②時間外、休日受診はなるべく避けましょう。
- ③薬をむやみに欲しがらず、医師の指示に従って適切な用量・用法で服用しましょう。
- ④定期的に健康診断を受け、病気の早期発見・早期治療を心掛けましょう。

交通事故に遭ったときは

第三者行為によりけがをした場合、届け出により老人保健で治療を受けることができます。ただし、その医療費は、原則として加害者が全額負担すべきものですので、後日、加害者に請求することになります。

●届け出の方法

警察に届け出て「交通事故証明書」を受け取り、健康保険証、老人受給者証、印鑑を持参の上、福祉部保健年金課医療福祉係(役場行政棟1階2番窓口)で手続きをしてください。

●示談の前にご相談を

届け出の前に、示談を済ませたりすると、老人保健を使えなくなることがあります。示談の前に必ずご相談ください。

東海村の老人保健受給者数と人口に対する割合

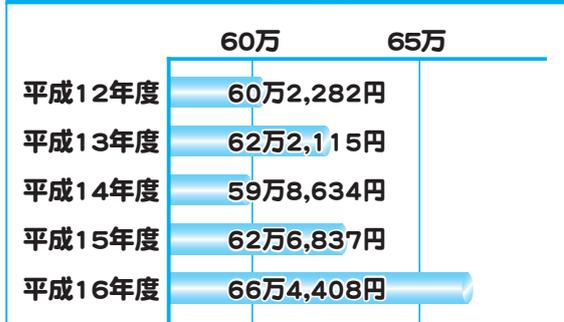
	受給者数	割合
平成12年度	3,053人	8.93%
平成13年度	3,172人	9.21%
平成14年度	3,245人	9.34%
平成15年度	3,184人	9.10%
平成16年度	3,054人	8.66%

東海村の老人医療費の動向



※平成12年度の減少は、老人医療費の対象となっていた一部が介護保険制度に移行したためです。
 ※平成14年度の減少は、老人給付者の年齢が70歳から75歳に引き上げられたためです。

一人当たりの老人医療費の動向



※平成12年度の減少は、老人医療費の対象となっていた一部が介護保険制度に移行したためです。
 ※平成14年度の減少は、老人給付者の年齢が70歳から75歳に引き上げられたためです。

こんなときは届け出を

次に該当したときは、福祉部保健年金課医療福祉係で手続きをしてください。

- ▼加入している健康保険証が変わったとき
- ▼転出・転入のとき、村内で住所が変わったとき

問合せ

福祉部保健年金課医療福祉係(☎282-1711 内線1134)



アイダホフォールズ市 ホームステイ体験記

7月27日から8月9日まで、姉妹都市交流事業の一環として、交換学生15人と引率者3人が東海村の姉妹都市・アメリカ合衆国アイダホフォールズ市を訪問し、親交を深めるとともに、異文化を体験してきました。

今月号では、訪問団を代表して、2人のホームステイ体験記を紹介します。

◆問合せ 企画総務部自治推進課ハーモニー・交流係(☎282-1711 内線1343)

アイダホフォールズ市



アイダホフォールズ市から訪問団が
やってきます!

11月3日(木)から11日(金)までの9日間、アイダホフォールズ市から、16人の一般訪問団が東海村を訪問します。日程・行事等詳細については、10月25日号をご覧ください。

学生訪問団の日程

	14:00 東海村役場出発
	19:10 成田空港出発
	—— 日付変更線通過 ——
7月27日	12:45 ロサンゼルス空港到着
	17:46 ソルトレークシティへ空港到着(乗り継ぎ)
	19:36 アイダホフォールズ空港到着(ホストファミリーと対面)
	10:00 市長表敬訪問、アイダホフォールズ博物館見学
7月28日	12:00 Sportsman Parkへ
	17:00 Highland Parkへ
	19:15 McDermott Fieldで野球観戦
7月29日	8:00 Island Park & Yellowstoneへ ※ワイオミング州
7月30日 終日	Yellow Stone国立公園へ ※ワイオミング州
7月31日	8:00 West Yellowstoneでラフティング
8月1日	12:30 Hillcrest高校訪問
	17:00 Couch宅にてバーベキュー
8月2日	10:00 Melaleuca見学
	12:00 Family Day (ホストファミリーと過ごす)
8月3日 終日	Lagoon Themeparkへ ※ユタ州
8月4日	7:45 Craters of the Moon散策、EBR 1 (INL)見学
	19:00 ロデオ観賞
8月5日 終日	A OK Corralで乗馬 ※ワイオミング州
8月6日 終日	Family Day (ホストファミリーと過ごす)
	7:30 アイダホフォールズ空港出発
8月7日	8:15 ソルトレークシティへ空港到着(乗り継ぎ)
	11:08 ロサンゼルス空港到着(市内観光後、ホテル宿泊)
8月8日	13:50 ロサンゼルス空港出発
	—— 日付変更線通過 ——
8月9日	16:33 成田空港到着
	20:30 東海村役場到着

I LOVE IDAHO

中央が佐竹さん



東海中学校3年 佐竹 わらび

アメリカに行く日が決まってから、私はこの2週間が楽しみで仕方ありませんでした。外国には何度か行ったことがあります。家族と離れてホームステイするのは未体験。しかし、メールでミカエラやマイカとたくさん話をしていたので、きちんと言葉を通じることがという不安よりも、アメリカではどんな体験ができるのだろうかという期待でいっぱいでした。

実際にアメリカに行ってみて、まず感動したのが、「なんて広いんだらう」ということです。学校の授業で、「アメリカの面積は日本の25倍です」と言われても、全くイメージがわかなかったのですが、目の前に広がる広大な土地に言葉が出ませんでした。

また、数々の貴重な体験をさせてもらいました。イエローストン

国立公園で野生動物を見たり、激流をボートで下ったり、獣道を乗馬したり、ウォータースラゲーン(遊園地)で絶叫マシンを完全制覇したり…。中でも一番の思い出は、丘を四輪バギーで駆け巡ったことです。ヘルメットをかぶり、座席にまたがってハンドルを握り、風を切る。車やバイクを運転したことのない私にとっては、とても新鮮な体験でした。

ホームステイ先の家族も、とても親切にしてくれました。リングを丸かじりしながら車を運転する豪快なお母さん、同じ年とは思えないほど大人っぽいミカエラ、ダンスが上手で、側転からバック転(後方転回)ができるマイカ、働きの者のお父さん、まだまだ元気なおばあちゃん。こんな素敵な家族と会えて、私は幸せ者だと思います。

2週間という時間があっという間に過ぎていき、「もつとアメリカのこと、ホストファミリーのみんなのことを知りたい」そんな気持ちです。だから私は、再来年もまた、この交換学生訪問団に参加したいと思います。お世話になった皆さん、本当にありがとうございます。

私のアイダホ体験記



東海中学校2年 小池 洋樹

飛行機を2度乗り継ぎ、半日近くかけてアイダホフォールズ市に着いたのは、夜の8時近くでした。しかし8時とはいえ、外はとても明るく、夕日がまぶしいくらいでした。空港のロビーでは、ホストファミリーの方々が、名前を書いた大きなカードを掲げて、私たちを笑顔で出迎えてくれました。

私を受け入れてくれたハーカー一家は、お父さんのビル、お母さんのバレリー、そしてビリー、エイミー、アランの3人兄妹です。市の中心部から少し離れた山の近くに住んでいて、見渡す限り緑一色という気持ちの良いところでした。ハーカー一家と過ごして驚いたことは、みんなあまりテレビが好きではなく、ほとんどテレビを見なかったということです。しかしその代わりに、家族全員とコ

ミュニケーションを取る時間が増え、私が打ち解けるにも、そう時間ばかりませんでした。特に、年が近かったせいも、アランとはすぐに仲良くなり、ほとんどアランと行動を共にしました。アランはドラムが得意で、家にいるときには、よく2人でドラムをたたいて遊んでいました。

私は、海外に来たのは今回が初めてだったので、毎日が驚きの連続でした。イエローストン国立公園では、車のドアを開けると、ほんの2メートルほどのところに野生動物がいたり、ロデオ観賞では、司会者が私たち訪問団のことをスタジアムの観客に紹介してくれただけでなく、「コンニチハ」とあいさつしてくれたり、楽しいことばかりでした。経験したことすべてが良い思い出ですが、一番の思い出は、疲れた顔ひとつせずに出迎えてくれたハーカー一家の笑顔です。不安の多い滞在中楽しく過ごすことができたのは、あの笑顔のおかげだと思います。本当に感謝しています。また、このような貴重な体験をさせてくれた両親、そして関係者の方々、本当にありがとうございました。



●知識と経験が尊い命を救います

9月10日、東海村国際交流協会と消防署との共催による「外国人のための普通救命講習会」が消防署で行われました。これは、外国人を対象にした初めての講習会で、応急手当の方法を学んでもらうことを目的としたもの。参加者たちは、119番通報の練習や心肺蘇生法、心臓が止まってしまった人に電気ショックを与えて細動を取り除く(除細動)医療機器「自動体外式除細動器」(AED)の使用方法を受講。「倒れている人を見つけたら、今日の講習を生かして助けたい」と、参加者の1人は力強く話してくれました。



●いざというときのための地域ぐるみの防災訓練

9月3日、「村松学区自主防災訓練」が真崎コミュニティセンターで実施されました。これは、村松学区(真崎区、舟石川3区、荒谷台区、滝坂区)内で、いつでも地震災害に対応できるよう、“向こう三軒両隣”の助け合い精神を安心・安全の街づくりの原点とし、地域住民一人一人の防災意識の高揚を目的に、村内で初めて行われたもの。参加した228人は、バケツリレーや消火器を使った消火訓練などを行ったほか、三角巾を使った応急手当や心肺蘇生法を学ぶことで、地域防災の大切さを改めて認識していたようでした。



●科学の世界に魅了されキラリと光る小さな瞳

8月19日、「第4回科学の祭典・東海村子ども科学広場」が中央公民館で開催されました。これは、東海村発足50周年記念事業の一環として行われたもので、子どもたちに科学の面白さを知ってもらうことを目的としたもの。家庭用の交流電流を利用して「電気パン」を焼き上げたり、温度によって変色する絵の具で絵を描いた容器を温めたり冷やしたりして熱の伝わり方を観察するなど、さまざまな実験や工作に興味津々の子どもたち。「楽しい」との声が聞こえるなど、子どもたちは科学の世界にすっかり魅了されたようです。



●ドライバーの皆さん優しい気持ちになって！

8月23日、「みちづくり塾(塾生24人)」による「お絵かき大作戦」が船場集会所で行われました。これは、子どもたちとその保護者などに製作してもらった看板を“おもいやりの道(舟石川学区内)”に設置し、交通マナーの向上を啓発しようとしたもの。110人の参加者は、ゆっくり走る動物をイメージして描いたカメやゾウなどに、思い思いに着色。「“おもいやりの道”の近くに幼稚園があるのを知ってるよ。看板を見たドライバーが優しい気持ちになってくれればいいな」と舂井英明くん(舟石川小学校6年)は話してくれました。

●心温まる音色に包まれて

8月26日、図書館開館20周年記念行事の一環として「ライアーミニコンサートと人形劇」が図書館で行われました。これは、子どもたちに図書館に親しみを持ってもらうことを目的に、「つくばライアーの響き」(芝山恭子団長、団員数50人)を招いて行われたもの。古代ギリシャのたて琴を原型とする楽器「ライアー」による「きらきら星」などの演奏や、人形劇「大きなかぶ」の上演に、子どもたちは大喜び。歌を口ずさんだり、「うんとこしょ! どっこいしょ!」と声を掛けるなど、思い思いに楽しいひとときを過ごしたようです。



文芸とうかい

〔俳句〕

朝顔の一輪毎の風の色 白方 柴田 一声
 思い出を独りたどれば秋の風

露天ぶる肌が知りけり秋の夜 舟石川 舛井 愛子

霧深く手折るのも惜し女郎花 村松 川崎 常義

土手駆けるおさな日思ふ赤とんぼ 舟石川 佐藤 とよ

南風木の葉揺らぎて我散歩 豊岡 西山 純一

幼虫の目のがやけり蟬の穴 村松 松本 正勝

蝶連れて秋迎え行く散歩哉 白方 根本 怜子

ミンミンの声の囁れる晩夏かな 白方 根本 武

天女舞い天女踊れる中宮寺 村松 正木 幹夫

風鈴の音色おぼろな夢のなか 外宿 照沼あや子

隣人の丹精こめたる青田にて出穂の真近に秋の
 風立つ 外宿 小林美代子

みどり児の無垢なる瞳美しく大人のわれの心見
 抜かん 村松 高橋 正弘

虫つきていち早く落つる柿の実を朝々拾ひ山羊
 の餌にする 船場 吉沼 良子

指導者からのメッセージ

少年育成 主体験記 PART. 67



石神サッカースポーツ少年団にかかわって
 石神サッカースポーツ少年団代表
 石神内宿 佐藤 孝雄

ちよこんと私のひぎに座つてくる、あどけないしぐさの小学1年生。「力比べをしよう！」と本気になって勝負を挑んでくる小学6年生。石神サッカースポーツ少年団は、そんな子どもらしいさいつばいの小学1年生から小学6年生まで、59人で日々の練習に励んでいます。

「伸び伸びと楽しいサッカーをやらせた」との思いから少年サッカーの指導にかわり始め、あつという間に15年。週末は、いつもグラウンドで子どもたちと一緒に過ごしてきました。子どもたちを指導するに当たって、私は、身体的成長に著しく個人差が現れる小学生の年代では、とにかくサッカーを楽しんでほしいと思っています。また、協調性や人間性をはぐくんでほしい

とも思っています。サッカーは、一人ではできないスポーツだけに、人としての成長もプレーに大きく関与してきます。子どもたちには、相手を傷つけないような汚いプレーや危険なプレーをしないことはもちろんですが、サッカーのルールブックには書かれていないことも、肌で感じ取ってほしいと思っています。そして、私の元を巣立った後の中学校、高等学校、大学、さらには社会人になっても、各自の成長に合わせ、「好きだから続けられる」「好きだからとことん追求できる」というスタンスで頑張ることができたら素晴らしいですね。

今でも、卒団生が練習に顔を出してくれることがあり、一緒に昔を振り返ることが度々あります。また、十数年前に指導したことがある子どもたちの中には、プロのサッカー選手として活躍している方も数人いますが、得点した喜びを電話で連絡してきたり、私が彼らの試合の応援に駆けつけたりと、サッカーを通じた交流は長く続いています。それが私の誇りや喜びであり、指導者を続ける原動力になっているのだと思います。私は、自分の好きになったスポーツをいつまでも続けていきたいと思っています。石神サッカースポーツ少年団の団員のみんなにも、サッカーを続けてもらえたら最高です。

教え子のさし芽のサポテン伸びながら葉数もふえて鉢に輝く

船場 中井川しげ

きのうまで家路を急ぎし旅人がけふはあの世のみちをゆくなり

船場 村上より子

三十度続きし庭に赤らみしトマトを朝のテールに置く

舟石川 工藤和一郎

暑さなほ去らず暮れゆく庭隅の繁みのなかにこほろぎの鳴く

村松 桜井 秀子

東海の花火の夜空晴れており間近に体にひびきつつ見る

船場 舛井庫之助

台風の去りたるあとの夜の庭虫の鳴く声しばし聞きおり

舟石川 小川志つ江

打ち水に涼求むらし揚羽蝶しばし残暑の庭を飛びおり

外宿 高槌 すみ

産土の曲家いでて半世紀二本杖もち山河にたてり

内宿 村上 文江

「好きだよ」と一言云へず征きしわれあの娘何処に老いて生きいむ

南台 根本内俊男

朝露に濡れし花らの生き生きとコミセンの庭賑やかに咲く

照沼 佐藤 昇

家ちかき古墳八基の講話けふ聞きたる妻よ賢くなりしか

村松 塙 千里

おりおりに言葉やさしく寡婦われに勇氣くれたる耳しいの友

須和間 柴山 靖子

ゆびに目をもちいる如く盲たる人手ざわ良く家事をこなせり

緑ヶ丘 佐藤 正

やあやあと最前列の友達は何くわぬ顔して八十八歳

舟石川 渡辺 敏博

暑かりし夏も終りて木屋の香り漂ふ月照る庭に

村松北 黒澤 孝子

エッセー頑張る

今どきの青少年 VOL. 77

中央が今月のエッセイスト



第16回友情の船中学生チーフリーダーとして
東海南中学校2年
村松 圃中 ちひろ

今回で3回目の参加となった「友情の船」。私が小学生のときには、何も考えず、気楽に参加していましたが、今年は一ひと味もふた味も違いました。なぜなら、中学生リーダーと小学生をまとめるチーフリーダーという仕事にチャレンジしたからです。チーフリーダーになったときは、自身とても不安な気持ちになりましたが、チーフリーダーを務めるからには、自分の力を精いっぱい出し切って、最高の旅にしようと思えました。

こと。2つ目は、小学生も中学生リーダーも関係なく、「友達と仲良くすること」。3つ目は、せっかくみんなで旅をするのだから、みんなの心の中に「生忘れられない」最高の思い出をつくることです。

チーフリーダーの役割を終えた今、この旅を振り返ってみると、自分なりに、「友達と仲良くする」「最高の思い出をつくる」という2つの目標は、ある程度達成できたのではないかと思っています。しかし、「はじめをつける」という目標はまだです。完全に達成することができなかったこの目標は、これからの目標として、達成できるまで頑張っていきたいと思っています。

私は、4回の事前研修と5泊6日の旅を通して、アドバイザーの方々やたくさんの友達と仲良くなることができました。時にはみんなで笑ったり、考えたり、泣いたりもしましたが、それとともに、たくさんのことを学ぶことができました。この旅で学んだことは一生忘れません。そしてこれから、いろいろなことに役立てていきたいと思っています。

最後に、この旅の素晴らしさは、参加した人だけしか味わうことができません。皆さん、ぜひ「友情の船」に参加してみてください。そして、たくさんの仲間との大切な思い出を心に残してください。

創造美術会茨城支部展

10月23日(日)～10月29日(土)



今年度、東京都美術館にて開催された「創造展」に出品した大作を中心に、小品と合わせて約30点を発表します。会員は各自、日ごとにテーマを追求して作品づくりに励んでおりますので、どうぞご覧ください。

STATION

GALLERY

■開館時間 午前10時～午後7時
※各展示の最終日は、午後3時までとなります。

■場 所 JR東海駅(駅舎2階)

■問合せ 東海ステーションギャラリー(☎287-3680)

テラコッタの温もりで～小宅淑子展

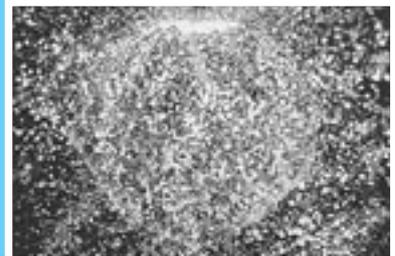
11月6日(日)～11月19日(土)

那珂市在住の彫刻家で、緑で描く子ども絵画展のアドバイザーでもある小宅淑子さんの個展。素焼きの土を素材としたテラコッタ彫刻約20点の展示です。素材の温もりが感じられる作品の数々をご覧ください。



大金徳之絵画展

10月30日(日)～11月5日(土)



抽象絵画を20点ほど展示します。制作の動機は、「休憩でミカンを食べ、その皮を見つめていると…」という些細なことからでした。絵画が輝きの対象になればと思い描きました。そのようなものが伝われば幸いです。

インフルエンザ予防接種(3歳～15歳)費助成のお知らせ

村では、3歳から15歳までの方のインフルエンザ予防接種に対して助成を行います。

■対象 村内在住の3歳(平成17年10月1日現在)から15歳(中学3年生)までの方

■接種期間 10月17日(月)から12月22日(木)まで

■接種回数 2回(1～4週間隔)

■費用 本人負担額1000円/回

■指定医療機関 尾形医院、清野医院、武藤小児クリニック、東原クリニック、茨城東病院、石井整形外科クリニック、いばらき診療所とうかい(小学生以上の方)、植村整形外科クリニック(小学生以上の方)、東海クリニック(中学生の方のみ)、東海病院

■その他 全額助成の対象となる65歳以上の方には、受診券をお送りしますので、申し込みの必要はありません。また、60歳から64歳までの方で、心臓・腎臓・呼吸器の障がいによる身体障害者手帳(1級程度)をお持ちの方は、保健センターへお問い合わせください。

■申し込み・問合せ 10月11日(火)から11月11日(金)までに、保健センター(☎282局2797)へ電話で申し込みください。

図書館トピックス

読書週間が始まります

10月27日から11月9日まで読書週間です。今年の標語は「本を読んでる君が好き」です。本との出会いで、楽しく豊かなひとときをお過ごしください。



第10回古本市のお知らせ

読書週間にちなみ、第10回古本市を開催します。図書館で除籍した本や皆さんから寄贈していただいた本をお分けします。お持ち帰り用の袋等をご持参の上、ぜひご来場ください。なお、今年はチャリティ募金活動を行い、集まった収益金は社会福祉協議会に寄附します。

●1日目 ▼日時：10月30日(日) 午前10時～午後4時 ▼場所：図書館前広場(雨天時：館内多目的ルーム) ▼冊数：一人10冊まで ※車でご来場の方は、図書館南側スィミングプラザ駐車場等をご利用ください。

●2日目以降 ▼日時：11月1日(火)から6日(日)までの開館時間内(休館日を除く) ▼場所：館内多目的ルーム ▼冊数：制限はありません

図書館開館20周年記念事業として、本に関する身近で役立つ講座を開催します。定員は各講座30人です。参加ご希望の方は、10月30日(日)まで、図書館へ申し込みください。

●本の修理講座

▼日時 11月9日(水) 午後6時～7時 30分

▼場所 館内多目的ルーム

▼講師 熊森繁さん(ナカバヤシ(株)水戸営業所所長)

●本の装備と配架講座

▼日時 11月10日(木) 午後6時～7時 30分

▼場所 館内多目的ルーム

▼講師 図書館職員

●読み聞かせ講座

▼期日 11月18日(金)・25日(金)、12月2日(金)(全3回)

▼時間 午前10時～正午

▼場所 館内多目的ルーム

▼講師 安富ゆかりさん(JPCR読書アドバイザー)、田中和子さん(紙芝居実演家)、たんぼぼの会

たんぼぼの会

「たんぼぼの会」によるおはなし会

期日 毎週土曜日(第5土曜日を除く)
時間 午後2時～3時
場所 おはなしコーナー
内容 絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行います。

休館日

10月10日(月)・11日(火)
17日(月)・24日(月)
28日(金)・31日(月)
11月3日(木)・7日(月)

国民年金 国民年金保険料 だより の納付のご案内



保険料の納め忘れがあると、老齢基礎年金や万が一のときの障害基礎年金、遺族基礎年金などが受けられない場合があります。被保険者および家族の年金の権利を守るため、電話や戸別訪問による納付のご案内をしています。

電話による納付のご案内

厳正な個人情報保護を図りながら、「社会保険事務所の職員」や「社会保険事務所の委託を受けた会社」が保険料の納め忘れがある方を対象に、直接電話をおかけしています。なお、最近社会保険事務所の職員などを装い個人情報聞き出すとする不審な電話が発生しています。このような電話は、被保険者が不在となる昼間の時間帯を狙って、家族から勤務先の名称、所在地、電話番号などの個人情報聞き出す内容のものが多いようです。不審な照会と思われる場合は、その場で即答せず、お近くの社会保険事務所にご確認ください。

戸別訪問による納付のご案内

身分証明書を携帯した「社会保険事務所の職員」が直接ご自宅を訪問し、国民年金制度のご案内、保険料の納付促進を行っています。夜間・休日にも訪問など行いますので、ご理解・ご協力をお願いします。

問合せ

福祉部保健年金課国保年金係(☎282局1711 内線1133)

「総合福祉センター周回ヘルスロード」を歩いてみませんか？

村では、健康日本21地方計画「東海村すこやかチャレンジプラン」を推進するために、健康づくりの拠点として設立された総合福祉センター「絆」の敷地内およびその周辺道路に、「総合福祉センター周回ヘルスロード」を4コース(Aコース、Dコース)設置しました。これらのコースは、「自分の健康は自分でつくる」ことを目的に、村民の皆さんに気軽にウォーキングを始めたらおうと、いばらきヘルスロード「原子力エネルギーコース」「芸術鑑賞コース」に次いで設置されたものです。車いすの方も楽しむことができるAコース(0.5キロメートル)から、体力づくりができるDコース(5.1キロメートル)まで、距離・景観ともにバラエティーに富んだコースとなっています。

また、同計画の推進を検討する「すこやかチャレンジプラン推進委員会」では、この周回ヘルスロードを村民の皆さんに楽しく利用してもらおうと、コース案内板の設置などを検討しています。

ヘルスロード体験ウォーキング

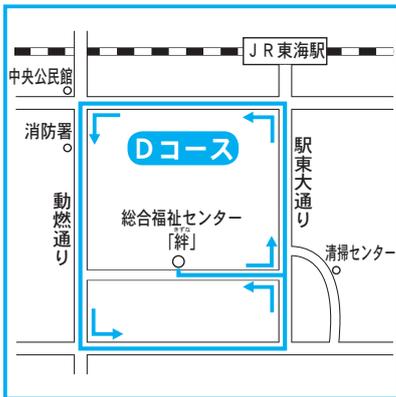
皆さんの意見を広くお聞きするために、周回ヘルスロードDコース(5.1キロメートル)の体験ウォーキングを実施します。ぜひ、ご参加ください。

▼期 日 10月27日(木)

▼時 間 午前9時受付、午前10時出発

▼内 容 1時間程度のウォーキング ※簡単なアンケートがあります。

▼申し込み 10月17日(月)までに、保健センターへ申し込みください。



保健センター ☎282局2797
問合せ

10月17日(月)から23日(日)までは 秋の行政相談週間です

行政相談週間とは？

「行政相談週間」は、総務省の行政相談制度について皆さんの理解を得るとともに、その利用の促進を図るため、毎年5月と10月に実施されているものです。期間中は、全国で各種の行政相談活動が集中的・重点的に展開されます。

行政相談委員とは？

行政相談委員は、役所・NTT・公庫・公団などが行っている仕事についての苦情などを受け付け、中立・公平な立場で相談者に助言したり、関係機関に相談の内容を連絡したりするなど、問題解決を促進する仕事をしています。現在、全国で5,000人を超える行政相談委員が、暮らしと行政をつなぐパイプ役として、身近なところで活躍しています。

相談は行政相談委員に！

毎日の暮らしの中で、役所の仕事に対する苦情や意見・要望はありませんか。「役所に相談したいが、どこの窓口に行けばよいか分からな

い」「役所に苦情を言いたい、直接窓口に言いたくない」「苦情を申し出たが、その措置に納得できない」。こんなときには、行政相談委員にご相談ください。

東海村の行政相談委員

東海村の行政相談委員は、川松文夫さん(石神内宿2462-1 ☎282-3756)です。自宅や定例相談所等で常時相談を受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

定例行政相談

- 日 時 ①毎月第3金曜日 午前10時～午後3時 ②毎月第4金曜日 午前10時～正午 ※10月は28日(金)のみとなります。
- 場 所 心配ごと相談所(総合福祉センター「絆」内)

問合せ

茨城県行政評価事務所・行政苦情110番(相談専用電話 ☎0570-090110 電子メール110 ibaraki@soumu.go.jp)

人口と世帯数

平成 17 年 9 月 1 日現在		
前月比		
世帯数	13,058 世帯	+ 7
総人口	35,617 人	+ 24
男	17,949 人	+ 14
女	17,668 人	+ 10



第17回レディースダブルス大会参加者募集

- 期 日 11月9日(水) ※荒天順延
- 時 間 午前8時45分受付開始
- 場 所 村テニスコート
- 対 象 村内在住・在勤の女性
- 参加費 1,500円/組 ※連盟登録者のペアは1,000円/組
- 種 目 ①女子ダブルス ②女子ビギナーダブルス
- 申し込み 10月26日(水)までに、村テニスコートクラブハウス備え付けの申込書に必要事項を記入の上、申し込みください。
- 問 合 せ 越塚ゆかりさん(☎287-0924)

平成18年度村立幼稚園入園児募集

- 対 象 ①5歳児…平成12年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた幼児 ②4歳児…平成13年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた幼児 ③3歳児…平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた幼児
- 募集人員 ①4・5歳児…希望者全員 ②3歳児…村松幼稚園(32人)、石神・舟石川・宿・須和間幼稚園(各16人)
- 申し込み 各幼稚園と教育委員会学校教育課の窓口へ備え付けの入園願いに必要事項を記入の上、10月17日(月)の、午後1時30分から2時30分までに、幼児の住民票(抄本)を添えて、希望する幼稚園へ申し込みください。
- 問 合 せ ①村松幼稚園(☎282-2867) ②石神幼稚園(☎282-3100) ③舟石川幼稚園(☎282-2962) ④宿幼稚園(☎282-3701) ⑤須和間幼稚園(☎282-4631) —の各幼稚園または教育委員会学校教育課学校教育係(内線1413)へお問い合わせください。

募集

古文書を読んで東海村の昔を知ろう 「東海村古文書を学ぶ会」会員募集

- 東海村の昔を学んでみませんか? 「えっ!」と驚くような事実があるかもしれませんよ。
- 活動日時 10月から平成18年3月までの第1・3土曜日、午前10時から11時30分まで
 - 場 所 中央公民館
 - 対 象 村内在住・在勤の方(若干名)
 - 参加費 1,000円/月(資料代別)
 - 申し込み・問合せ 佐藤美智子さん(☎283-1541)へ申し込みください。

参加費無料

サイエンスカフェ参加者募集

日本原子力研究開発機構内に建設中の中性子やニュートリノを利用した世界最先端の研究施設「大強度陽子加速器(J-PARC)」について、専門家が分かりやすく説明します。コーヒーを片手に、気軽に語り合ってみませんか?



- 期 日 11月19日(土)
- 時 間 午後3時から4時30分まで
- 場 所 テクノ交流館リコッティ
- 講 師 鈴木國弘さん(日本原子力研究開発機構勤務)
- 定 員 30人(応募者多数の場合は抽選)
- 申し込み・問合せ 11月7日(月)までに(当日消印有効)、官製はがきまたはファクシミリ、Eメールにて、参加希望者の住所、氏名、年齢、電話番号およびサイエンスカフェ応募と明記の上、茨城県企画部地域計画課県北地域グループ(〒310-8555 水戸市笠原町978-6 ☎301-2725 FAX301-2738 電子メールchikei2@pref.ibaraki.lg.jp)へ申し込みください。

参加費
無料

手話通訳付普通救命講習会参加者募集

手話通訳者の方々の手を借りながら行う、実技を中心とした講習会です。また、電気ショックが必要な心臓の状態を判断できる心臓電気ショック機器「自動体外式除細動器(AED)」の取り扱いも行います。

- 日 時 10月23日(日) 午前9時～正午
- 場 所 消防庁舎
- 対 象 聴覚障がい者(先着20人)
- 内 容 心肺蘇生法・AED取り扱い・止血法など、実技を主体に行います。

- その他 ①当日は、動きやすい服装で参加してください。②予約制保育サービスをご希望の方は、10月17日(月)までに申し込みください。③すでに普通救命講習修了証をお持ちの方でも、2年が過ぎている方は、ぜひご参加ください。その際、普通救命講習修了証をお持ちください。
- 申し込み・問合せ 10月21日(金)までに、ファクシミリまたは電話にて消防署救急救助係(FAX287-0629)へ申し込みください。

外国人の皆さん、日本語で主張してみませんか?

東海村国際交流協会では、東海村文化祭活動の一環として外国人に日本語で主張してもらう場を設けます。参加して意見や考えを述べてくれる「われこそは!」という外国人を募集します。

- 日 時 11月5日(土) 午後2時～4時
- 場 所 中央公民館
- 対 象 日本語以外の言語を母語とする外国の方
- テ ー マ 自由(日本語での発表のみ) ※例…日本に来て感じたこと/私の国の紹介/私の主張など(5分以内)
- 申し込み・問合せ 10月14日(金)までに、①住所②氏名③連絡先④生まれた国⑤育った国⑥スピーチのタイトルと概要——を日本語または英語で記入の上、東海村国際交流協会事務局(企画総務部自治推進課内 内線1343 FAX287-0317 電子メールjitisuisin@vill.tokai.ibaraki.jp)へ直接お持ちになるか、ファクシミリまたは電子メールで申し込みください。なお、申し込み者多数の場合は抽選となります。

Looking for foreign speakers in Japanese!

Tokai-mura International Association (TIA) is looking for people of foreign nationalities who would like to express their feeling and thought by giving a short speech in Japanese during Tokai-mura Cultural Festival.

- DATE AND TIME 14:00～16:00 November 5, 2005 (Saturday)
- PLACE Central community center
- ELIGIBILITY FOR APPLICATION Foreign nationals whose first language is other than Japanese
- SUBJECT Free(must be presented in Japanese) ※Example…What I feel about Japan / About my country / What I want to say about XXXXX
- DURATION OF A SPEECH shorter than 5 minutes
- APPLICATION AND QUESTION Please directly submit, fax, or e-mail the following information to the Bureau of TIA (Village Promotions Section, Planning and Financial Department, PHONE 287-0856 FAX 287-0317 E-mail jitisuisin@vill.tokai.ibaraki.jp) either in Japanese or English by October 14 (Friday). 1>Your name 2>Your address 3>Contact information(phone no., cell phone no., e-mail address, or fax no.) 4)Country you were born 5)Country you were brought up. Please be noted that selection will be made when there are a large number of applications. We hope to hear your frank and honest voice!

参加費
500円/人

手引きボランティアサークルふれあいハイキング参加者募集

手引きボランティアサークルでは、視覚障がい者との交流を深めるためのハイキングを行います。ぜひ、ご参加ください。

- 期 日 10月22日(土)
- 時 間 午前9時30分～午後2時30分※集合時間/午前9時20分 集合場所/総合福祉センター「絆」
- 場 所 国営ひたち海浜公園(ひたちなか市馬渡)※雨天時は総合福祉センター「絆」
- 対 象 村内在住の視覚障がい者、または、当日ボランティア活動をしていただける小学4年生以上の村内在住の方(先着20人)※初心者可
- 申し込み・問合せ 10月17日(月)までに、ボランティアセンター(☎283-4538)へ申し込みください。

参加費
無料

精神保健福祉ボランティア養成講座受講生募集

地域と心の病気を持っている方をつなぐ架け橋になっていただけることを期待して開催します。

- 期 日 10月27日(木)・28日(金) ※全2回
- 時 間 午前9時30分～午後4時
- 場 所 総合福祉センター「絆」
- 対 象 村内在住・在勤の方(先着20人)
- 申し込み・問合せ 10月17日(月)までに、社会福祉協議会へ申し込みください。

東海村役場	282-1711	地域福祉センター(総合案内・会議室の予約等)	(社)東海村社会福祉協議会内
防災行政無線放送テレビホンサービス	0120-42-4848	高齢者センター	282-4300
東海村合同庁舎(会議室の予約等)	283-3344	障害者センター	282-4599
東海村中央公民館	282-3329	児童センター	306-1017
東海村立図書館	282-3435	保健センター	282-2797
東海村青少年センター	282-7049	救急医療情報コントロールシステム	241-4199
東海村総合体育館	283-0673	東海村消防本部・消防署	282-2038
東海スイミングプラザ	287-0807	東海村石神外宿浄水場(土・日曜日、祝日の断水等の連絡)	282-9200
東海村テニスコートクラブハウス	282-8571	東海村姉妹都市交流会館	282-0535
東海文化センター	282-8511	東海村(基幹型)在宅介護支援センター	287-2516
東海ステーションギャラリー	287-3680	(社)東海村社会福祉協議会	282-2804
東海村立東海病院	282-2188	東海村在宅福祉サービスセンター	283-4344
東海村清掃センター	282-7289	(社)東海村シルバー人材センター	282-3446
		ひたちなか西警察署東海地区交番	287-0110
		東海郵便局	282-2001
		JR東日本東海駅	282-2008
		常陸海浜広域斎場	265-7191
		災害情報案内専用ダイヤル	283-4919

地域特定推薦入学(茨城キリスト教大学看護学部看護学科)について

- 試験日 11月12日(土)
- 時間 午前9時15分
- 場所 茨城キリスト教大学
- 対象 ①2006年3月に高等学校を卒業見込みの方で茨城キリスト教大学を第1志望とし、合格した場合必ず入学②出願期間最終日の1年前から村内在住の高校生(または同様の期間、保護者が村に住所を有している※居住地等の記載証明書を提出)、なおかつ、村長および出身高等学校長が責任を持って推薦できる③全体の評定平均値が4.0以上④看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、地域の保健・医療・福祉の向上に貢献する——を満たす方(3人)
- 試験内容 小論文、個人面接
- 村長推薦出願期間 10月24日(月)から11月1日(火)までに、在学高等学校備え付けの申込書に必要事項を記入し、必要書類をそろえた上で、保健センターに申し込みください。
- 申し込み・問合せ 10月27日(木)から11月7日(月)までに、村長推薦書とその他必要書類をそろえた上で茨城キリスト教大学(☎0294-54-3212 ホームページhttp://www.icc.ac.jp 電子メール nyushi@icc.ac.jp)へ申し込みください。

グランドピアノを弾いてみませんか?

- 東海文化センターにあるグランドピアノを、個人レッスンに使用してみませんか?
- 使用可能日 10月18日(火)・19日(水)、11月10日(木)・16日(水)・17日(木)・25日(金)、12月6日(火)・9日(金)・23日(金)
 - 時間 ①祝日…午前10時～午後5時
②平日…要問合せ
 - 場所 東海文化センター
 - 対象 村内在住・在勤・在学の方
 - 使用料 無料(1人1回1時間、1期間2回まで)
 - 申し込み・問合せ 10月15日(土)から、(財)東海村文化・スポーツ振興財団(東海文化センター内)窓口(午前9時から)と電話(午後1時から)で受け付けます。



イトセトラ

「ひたち海浜公園オータムフェスティバル」開催

- 期日 10月23日(日)※荒天中止
- 時間 午前9時30分～午後5時
- 場所 国営ひたち海浜公園(ひたちなか市馬渡)および周辺地区
- 内容 あんこう吊り切り実演、常陸那珂港などの地区見学など
- 入園料 無料※駐車料は有料
- 問合せ 公園管理センター(☎265-9001)

文化祭「写真部門」展示作品募集

- 東海村写真連盟では、2005東海村文化祭「写真部門」への展示作品を募集します。奮ってご応募ください。なお、展示作品は選考となります。
- 展示日 11月4日(金)～6日(日)
 - 展示場所 総合体育館
 - 対象 村内在住・在勤・在学の方、または東海村写真連盟に所属している方(1人3点以内)
 - テーマ 自由(既発表作品でも可。ただし他の公募展等での入賞・入選作品は不可)
 - 形態 サイズは半切以上で単写真、装丁済のもの※製丁後のサイズは90cm×90cm以内
 - 審査員 萩谷靖さん
 - 申し込み 10月23日(日)の午前10時30分から正午までに、各コミュニティセンター、中央公民館等に備え付けの応募用紙に必要事項を記入の上、作品とともにテクノ交流館リコッティに直接お持ちください。
 - 問合せ 根本哲成さん(東海村写真連盟事務局 ☎283-1123)

農ビ・農ポリを有料で回収します

村では、使用済みの農ビ(農業用塩化ビニール)および農ポリ(農業用ポリエチレン)の回収を行います。なお、回収日当日の受け付けはできませんので、ご注意ください。

- 日 時 10月18日(火) 午前9時～11時
- 場 所 JAひたちなか東海支店
- 費 用 登録料1,000円/年、処理費
- 申し込み・問合せ 10月13日(木)までに、経済環境部経済課地域農政係(内線1435)へお申し込みください。

10月の休日診療日程

診療時間	午前9時30分～正午、午後1時～2時	
問 合 せ	救急医療情報コントロールシステム(☎241-4199)	
期日	病医院名	電話番号
10日(月)	茨城東病院	282-1151
16日(日)	東海病院	282-2188
23日(日)	東海クリニック	283-1711
30日(日)	石井整形外科クリニック	270-5141

※今月の「休日診療日程」は、9月25日号に掲載した日程と一部変更していますので、ご注意ください。

区画整理地内の保留地を 抽選により公売します

- 期 日 10月27日(木)
- 時 間 午前10時
- 場 所 役場行政棟 2階202会議室
- 公 売 地

駅西土地区画整理事業地内

街区符号	面積	価格
7街区符号6	317㎡	19,146,800円(60,400円/㎡)

駅東土地区画整理事業地内

街区符号	面積	価格
29街区符号9	208㎡	14,123,200円(67,900円/㎡)

駅西第二土地区画整理事業地内

街区符号	面積	価格
28街区符号3	253㎡	15,180,000円(60,000円/㎡)
31街区符号21	260㎡	15,600,000円(60,000円/㎡)
2街区符号10-1	255㎡	16,677,000円(65,400円/㎡)
2街区符号10-2	329㎡	25,958,100円(78,900円/㎡)

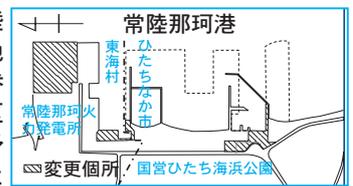
中央土地区画整理事業地内

街区符号	面積	価格
77街区符号14	227㎡	13,869,700円(61,100円/㎡)

- 対 象 駅西・駅東・中央土地区画整理事業地内 ①村内に土地または建物を有する方②村内に住所を有する方のうち1世帯につき1人、ただし、抽選参加者がいなかった場合は、村外の方も参加可(共有可) ③既契約者以外の方 駅西第二土地区画整理事業地内(2街区符号10-1、2) 過去に保留地を購入した方以外(先着順)
- 申し込み・問合せ 10月12日(水)から21日(金)までの(土・日曜日を除く)午前8時30分から午後5時15分までに、建設水道部区画整理課備え付けの申込書に必要事項を記入の上、①本籍地発行の身分証明書②申し込み者本人の住民票の写し③前年度の納税証明書④その他(事業地区ごとの必要書類)——を持参の上、建設水道部区画整理課管理係(内線1211)へ申し込みください。

都市計画案に関する説明会について

県では、常陸那珂港湾用地の一部(右図参照)を臨港地区に追加指定を予定していることに伴い、都市計画案に関する説明会を開催します。



- 日 時 10月24日(月) 午後2時から
- 場 所 村松コミュニティセンター
- 内 容 水戸・勝田都市計画①臨港地区②区域区分(市街化区域および市街化調整区域)③用途地域——の変更について
- 問 合 せ 茨城県港湾課(☎301-4521)、建設水道部都市計画課都市整備係(内線1232)

費用
無料

住民検診を実施します

村では、①結核・肺がん検診②成人病検診(血圧・血液・尿・心電図・眼底検査)③前立腺検診④ウイルス肝炎検査⑤大腸がん検診——を行う「住民検診」を実施します。

期日	場 所	期日	場 所
10月19日(水)	①白方コミュニティセンター ②亀下集会所	10月26日(水)	①舟石川コミュニティセンター ②舟石川コミュニティセンター
10月20日(木)	①真崎コミュニティセンター ②豊岡集落センター	10月27日(木)	①石神コミュニティセンター ②外宿2区集会所
10月21日(金)	①保健センター ②保健センター	10月28日(金)	①村松コミュニティセンター ②南台集会所
10月24日(月)	①中丸コミュニティセンター ②船場集会所	10月29日(土)	①保健センター ②保健センター
10月25日(火)	①保健センター ②保健センター		

- 受付時間 ①午前9時30分～11時 ②午後1時30分～3時
- 申し込み・問合せ 1月の健康診査家族調査票で申し込みをしていない方や最近転入してきた方のうち、住民検診を希望する方は、10月14日(金)までに、保健センターへ電話で申し込みください。

住民参加ミュージカルin東海村 公演「フレンド・シップ〜潮風の招待状〜」

村独自の事業「友情の船」を題材としたミュージカルを劇団とみかるが上演します。

- 期 日 12月18日(日)
- 時 間 ①午前11時 ②午後3時
- 場 所 東海文化センター
- 入 場 料 全席指定 一般2,000円、中・高生1,500円 小学生以下1,000円
- そ の 他 託児サービス(1,000円/人)を希望の方は、12月11日(日)までに申し込みください。

■申し込み

10月22日(土)の午前9時から、東海文化センター窓口で前売券を発売いたします。なお、残



券がある場合のみ、午後1時から電話予約を受け付けます。また、団体(30人以上)については10月15日(土)から20日(木)まで受け付けます。

■問 合 せ

東海文化センター

となりのまちから イベントガイド

茨城町 ● 2005いばらきまつり

- ◆期 日 11月5日(土)
- ◆時 間 午前9時30分～午後4時
- ◆場 所 茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」前駐車場
- ◆内 容 特設屋外ステージにおける各種イベント(キャラクターショー、ものまねショー、ビンゴゲーム大会)、特産品から生活雑貨までそろった売店コーナー、抽選会ほか
- ◆問 合 せ 2005いばらきまつり実行委員会事務局(茨城町商工観光課内 ☎292-1111)

常陸太田市 ● 第18回さとみかかし祭り出展作品大募集

- ◆期 日 11月5日(土)～12月4日(日)
- ◆場 所 里美ふれあい館イベント広場
- ◆募集作品 手作りの「かかし」
- ◆作品規格 高さ1m以上
- ◆作品搬入 11月2日(水)から3日(木)の午前9時から午後5時までに所定の場所に設置すること
- ◆申し込み・問合せ 11月1日(火)までに、所定の応募用紙に必要事項を記入の上、里美観光協会(常陸太田市里美支所産業課 ☎0294-82-2111)へ申し込みください。

北茨城市 ● 雨情の里港まつり

- ◆期 日 11月6日(日)
- ◆時 間 午前9時～午後3時
- ◆場 所 北茨城市大津漁港
- ◆内 容 あんこう鍋無料試食や魚のつかみ取り、よさこいソーラン節、キャラクターショー、漁業体験、クルーザ遊覧、歌謡ショーほか
- ◆問 合 せ 北茨城市商工会(☎0293-42-2511)

高萩市 ● 第26回高萩市産業祭

- ◆期 日 11月19日(土)・20日(日)
- ◆時 間 午前9時～午後3時
- ◆場 所 市民体育館(高萩市高萩17-4)、中央公民館(高萩市高萩17-3)およびその周辺
- ◆内 容 農林・畜産物や商工業品、工芸品、食料品などの展示即売、常陸牛コーナーなど
- ◆問 合 せ 高萩市商工観光課(☎0293-23-7316)

大洗町 ● 大洗あんこう祭の開催について

- ◆期 日 11月27日(日)
- ◆時 間 午前9時30分～午後3時
- ◆場 所 曲松および永町商店街
- ◆内 容 ①特設ステージにおける郷土芸能、あんこう吊し切り、大道芸など ②あんこう鍋約4,000食無料配布 ③商店街での特別セール ④各種特産品の販売 ⑤遊具コーナー
- ◆問 合 せ 大洗町商工観光課(☎267-5111)

ひたちなか市 ● 第54回勝田全国マラソン大会参加者募集

- ◆期 日 平成18年1月29日(日) ※雨天決行
- ◆対 象 高校生以上の日本陸連登録者および一般アマチュア競技者
- ◆参加費 一般(フルマラソン)…3,500円 一般(10キロメートル)…3,000円 高校生…2,500円
- ◆参加賞 大会オリジナルTシャツ、完走(乾燥)いも、完走証は当日のみ発行
- ◆そ の 他 マラソンの部男女上位入賞者(若干名)をポストンマラソンに派遣
- ◆申し込み・問合せ 11月30日(水)(当日消印有効)までに、所定の申し込み用紙に必要事項を記入の上、勝田全国マラソン大会事務局(〒312-0016 ひたちなか市松戸町2-6-1 ひたちなか市松戸体育館内 ☎275-7752 ホームページ<http://www.runtes.jp>)へ申し込みください。なお、参加費は郵便振込みまたは大会事務局に直接ご持参ください。



石神幼稚園 ● 桑原浩輝くん

綱引き

石神小学校・幼稚園の運動会で、小学生が一生懸命綱引きをしている様子を描いてくれた浩輝くん(6歳)。

「格好良かった！ ぼくも小学生になったら、「綱引き」を頑張るんだ」と元気に話してくれました。

ぼくの夢 Dream-55 わたしの夢



夢は…。 “学校の先生”

白方小学校6年 ● 大貫夏未

私の将来の夢は、学校の先生になることです。そのきっかけは、小学生になって最初の担任の先生との出会いです。その先生は、いつもにこにこしていて、とても親しみやすい先生でした。また、普段は優しいのですが、時には厳しく私たちを指導してくれる先生が印象的だったからです。

そのころのクラスは、先生や友達がとても明るく元気だったので、いつでも楽しいクラスでした。また、中学年や高学年の児童たちにも気軽に声を掛け、話している先生に、私はだんだんあこがれるようになりました。

私は、先生に出会っていろいろなことを学びました。これからもいろいろな先生を手本とし、将来、学校の先生になって“ステキなクラス”をつくっていきたいと思います。

長女・海成(5歳)は幼稚園の年中さん。ただ今微妙な年ごろで、反抗期真っただ中。次女・優寧(3歳)はお話もだんだん上手になって、お姉ちゃんの名前をしてみたり、赤ちゃんに戻ってみたりと、ちゃめっ気たっぷり。反面、なかなかの頑固者。わが家は、この2人の娘を中心に、毎日笑ったり怒ったりと悪戦苦闘の日々です。海成も優寧も、同じ年ごろの子と比べると、体も大きくたくましく見えますが、2人合わせて今までに8回も入院しています。それは、風邪をひくと、すぐ肺炎になってしまふのです。初めての入院は、海成が1歳2か月のときです。病院の先生に「入院」と言われた瞬間のことは、今でも忘れることができませぬ。小さくプクプクした子どもの手の甲に点滴の針を刺すことは、ベテラン看護師でも難しいそうです。1回で血管に入らなず、何度も指したり抜いたり…。私は、海成の上にまたがり、押さえ付けするように言われました。痛みと恐怖で大泣きしている海成を見て、「私が代わるものなら」「こんなことになる前に何とかなったのでは」

と、自分を責めるばかりで涙が止まりませんでした。その後、海成が2回、優寧は5回の入院……。また、私は海成を出産する前から今年7月半ばまで仕事をしていたので、子どもたちが体の調子を崩すたびに、仕事を休んだり、遅刻・早退したり、育児と仕事の両立に悩まされてきました。しかし、職場の仲間は嫌な顔ひとつせず、逆に励ましてくれました。中でも、一番の協力者は、近くに住むそれぞれのおばあちゃんたちです。2人には本当に感謝しています。最近、朝から晩まで姉妹ゲンカが絶えず、私はストレスがたまる一方に…。そんなとき、パパがバッテリーセンターへ連れて行ってきて、網の外からは子どもたちの「お母さんガンバレー」との声援に元気が戻ります。でも一番の息抜きは、幼稚園のお母さんたちと、また、以前働いていた職場の仲間とおしゃべりを楽しむながら思い切り笑うことです。このころは2人とも随分丈夫になりました。そして、海成と優寧、人の気持ちが分かる優しい子に育ちますように…。

わが家の 子育て奮戦記

表紙の「ひと」
さわはた まゆみ
澤島真由美

